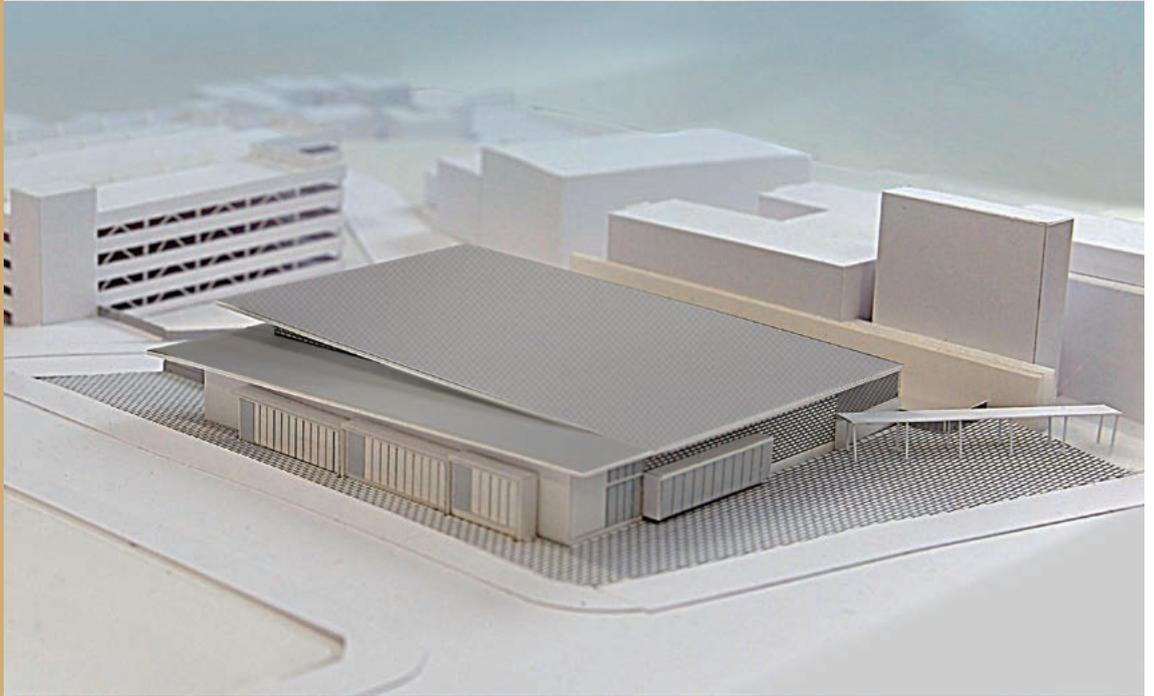


「誰一人取り残さない郡山」の 実現を目指して



〔(仮称) 郡山市歴史情報・公文書館〕イメージ



郡山市長
しながわまさひと
品川 万里

郡山市は、全国の皆さまから寄せられたご支援により、着実に復興の歩みを進めてまいりました。この場をお借りし、心から御礼申し上げます。

こうした復旧・復興の記録を定量的・定性的に後世に伝え、さらなる強靱化と飛躍の糧とするとともに、災害の記録を含めた本市の貴重な歴史・文化遺産を保全・整備活用・情報発信し、次世代に継承するため、現在「(仮称) 郡山市歴史情報・公文書館」の整備を進めています。

今後におきましても、震災の記憶を風化させることなく、そして、これまでの歩みを教訓として、日々刻々と状況が変化する事案に対しては「ぼっぼんそくげん抜本塞源」の考えのもと、将来予見可能な課題については「バックキャスト思考」により政策を検証しながら、「積小為大」の方法論で、安全・安心な「誰一人取り残さない持続可能な郡山」を形成してまいります。

次号は岩手県釜石市です

東日本大震災から10年

あの日・いま・みらい

東日本大震災から10年が過ぎました。甚大な被害を乗り越え、人々は歩み続けています。復興から創生へと向かう、被災地の今をお伝えします。